

(別添 3)

【宇陀市】
校務DX計画

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検結果を踏まえ、本市が取り組むべき事項について記載する。

【1】校務の効率化

・押印等の規定の見直し

令和3年度から市教育委員会への提出書類における押印等の廃止を実施しているが、依然として押印・署名が必要な書類が多数存在しており、校務の効率化、ペーパーレス化の阻害要因になっている。

緊急連絡や教育ネットワークの不具合時等の特別な場合を除き、FAX及び押印の原則廃止、資料等のペーパーレス化に向けて、各種行政機関及び関係業者等へ見直しを行うよう継続的に依頼していく。

また、教員間でクラウドサービス利用のスキル格差が発生しないよう、ICT支援員によるサポートを随時行う。

【2】学校と保護者間連絡のデジタル化

・保護者連絡アプリ等の積極的活用

保護者連絡アプリに関しては、児童生徒の欠席等各種連絡及びイベント周知などの活用はすでに進んでいる。今後は、アプリやクラウドサービスを用いて、調査やアンケート等のオンライン化を積極的に進める。

【3】ネットワークの整理

・校務支援系及び学習系ネットワークの統合

教育委員会と各学校間のネットワークは、①LGWAN系②校務支援系③学習系の3種類が存在し、個人情報扱う②校務支援系はセキュリティが確保された閉鎖ネットワークであることから非効率的な運用がなされ、教育DX推進に向けての阻害要因となっている。

そこで、次世代型校務支援システムの導入に併せて、ゼロトラストセキュリティの考えに基づいたアクセス制御によるセキュリティ対策を十分講じたうえで、②校務支援系と③学習系を統合し、ゼロトラスト型ネットワークへ移行することで、教職員の負担軽減・コミュニケーションの迅速化や活性化を目指す。